

企業（特別）ヒアリングの結果について

我々は、右肩下がりの時代になぜ起業したのか

～バブル崩壊後に起業した関西地域の経営者50名へのヒアリング結果から～



平成24年11月27日
財務省近畿財務局

(連絡・問い合わせ先)
総務部経済調査課(地域情報統括PT)
TEL: 06-6949-6377
近畿財務局ホームページアドレス
<http://kinki.mof.go.jp/>

1. 起業の秘訣(調査概要)

バブル崩壊後(1991年以降)に起業した関西地域の経営者50名に起業の秘訣等についてヒアリングを実施。

(1) 起業年

単位:社



■ 1995年以前

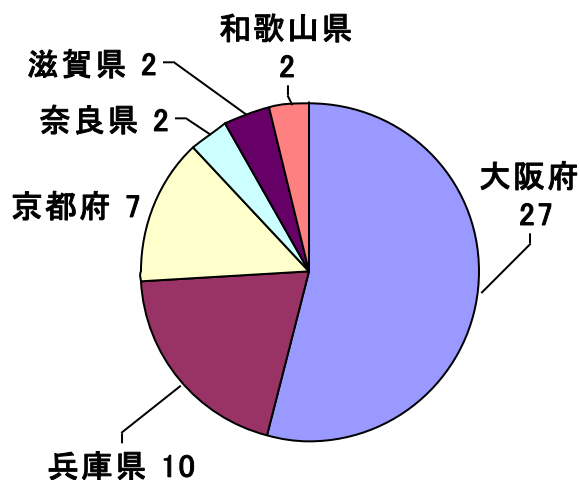
■ 1995年～2000年

■ 2001年～2005年

■ 2006年～2010年

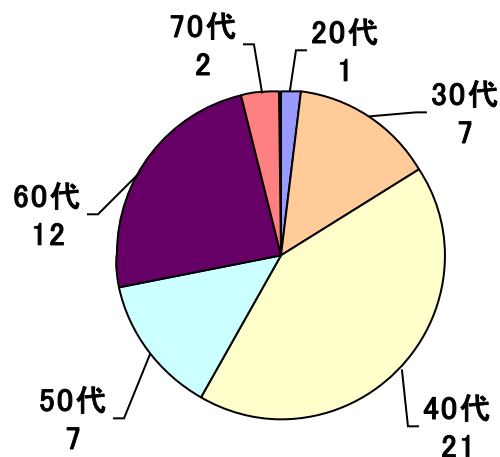
(2) 地域別

単位:社



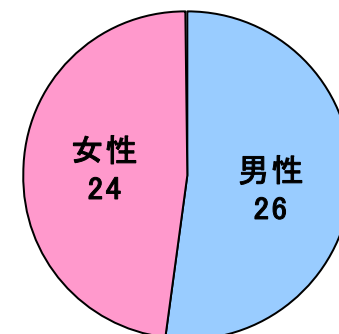
(3) 年齢(ヒアリング時点)

単位:人



(4) 男・女別

単位:人

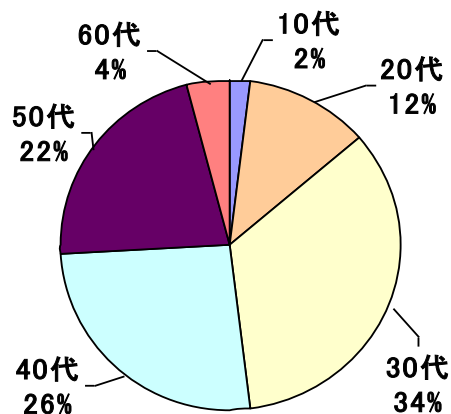


2. 起業の秘訣(起業時の年齢、理由、協力者)

(1) 起業時の年齢

起業時の年齢は、30代が34%でトップ。次に40代(26%)が続いた。

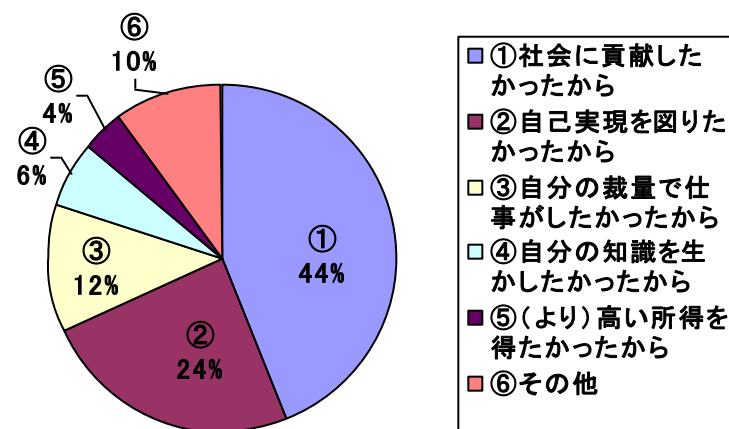
なお、最高齢は、60歳、最年少は、19歳となっている。



(2) 起業の理由

起業の理由は、「社会に貢献したかったから」が44%でトップ。次に、「自己実現を図りたかったから」(24%)が続いた。

なお、「高い所得を得たかったから」は、僅か4%にとどまっている。



(3) 協力者

起業への協力者の有無は、8割以上が「協力者がいた」と回答。内訳については、「家族」(40%)がトップ。続いて、「友達」(32%)となっている。

誰の協力も得なかったという、「創業者のみ」(16%)をあわせた、3F(Family、Friend、Founder)だけで、全体の約9割を占めた。



■ 家族(Family) ■ 友達(Friend) ■ 創業者のみ(Founder) ■ その他

3-1. 起業のきっかけ(男性起業家編) ～俺を突き動かしたものの～

① 漁師への恩返し (日本の漁業を成長産業へ)

(水産流通業)

前職は大手造船会社に勤務。駆け出しの頃は船の知識も無いため、図面の見方も分からず苦勞の連続。その時に手を差し伸べてくれたのが漁師の方々であり、それから25年、仕事を通じて全国の漁師たちとつながりを深める。しかしその間、水産業を取り巻く環境は厳しさを増し、高齢化と担い手不足は深刻な状況に。

自分に残された時間を、少しでも漁師たちへの恩返しのために使いたい、との一念で起業。魚をリアルタイムで買い付けできる魚の取引所(産地直送システム)をインターネット上につくり出した。経営の厳しさから陸に上がってしまった漁師たちを再び海に戻してあげたいとの思いを胸に、水産業復興の鍵となる流通改革に今日も挑む。

② 親父の会社を取り戻したい (オゾン装置、再起を懸けた闘い)

(製造業(衛生装置))

前職の大手電気機器メーカーを退職し、父親が経営する金属加工会社で働くことになったが、祖父が創業したその会社は時流に乗り遅れたことから業績が悪化。メインバンクから資金を引き上げられ、4年後に倒産。実家は差し押さえられ管財人の手に渡った。祖父、父親とつないだ会社が途絶え、家までも失ってしまったことに対し「ただ復活させたい(取り戻したい)」との一心で起業。現在は、オゾンを利用した殺菌や脱臭装置の製品開発を行っており、大手飲食チェーンから受注するまでに。再起を果たした今、「衛生面の向上を通じた社会貢献」という企業理念の実現のために海外進出を目指す。

③ 医薬品を開発し困っている人を助けたい (心の傷の完治を目指して)

(製造業(医薬品))

幼い頃に家族が大やけどを負い、傷は癒えたものの傷痕が残ってしまうということを経験。その時、いつか傷痕も残さず治せるような治療技術を開発することを決意。大学卒業後、先々の起業も見据え化粧品と医薬品を開発している大手化学メーカーに就職。その後、過労で倒れて入院した際に様々な症状に悩む多くの患者たちと出会い、自分が医薬品を開発することの意義・重要性を再認識し、起業への決意を新たにした。約20年間勤めた後に大手化学メーカーを退職し、そこで培った技術を基に、現在は傷痕を残さない治療法の開発を最終目標に大学医学部と共同で様々な技術開発に取り組んでいる。

④ 日本の農業を何とかしたい (耕作放棄地解消を目指して)

(貸農園)

幼い頃、故郷で荒れ果てていく農地や農家の苦しそうな顔を見ながら育った。物心がついたころ「地元農家のために何とかしたい」という思いが強くなり、大学では化学肥料や農業の研究、バイオや遺伝子の組換えといった研究に没頭したが「自分のやろうとしていることは何か違う」と感じるように。農業を根本的に変えるためには行政や就農者だけでなく、消費者に農業を理解してもらい、農業(耕作)の大切さを知ってもらうことが重要であるとして、耕作放棄地を貸し農園とする「体験農園」を運営する会社を起業。日本の農業を変える、壮大な挑戦はまだ始まったばかり。

3-2. 起業のきっかけ(女性起業家編①) ~私を起業に導いたもの~

⑤ 夫の最後のラブレター (亡き夫の思いに応えるために)

(家事代行業)

元気に出張に出掛けたはずの夫が帰らぬ人に。葬儀までは、何とか気丈に振舞ったものの、最後の言葉も交わせぬまま、別れなければならなかったことへの無念さから鬱状態に。何もやる気が起きず、ただ、ぼんやりと過ごす日々。「夫と話がしたい」、そんな思いが募り、1ヶ月前の誕生日に夫から貰った手紙に目を通す。そこには、「あなたのイキイキとしての姿を見るのが嬉しかった」、「誕生日に飲み連れて行ったのは、ただあなたを見せびらかしたかったから」などの言葉が綴られていた。溢れる涙が止まらない。しかし、同時に、心の霧も晴れ、塞ぎ込んでいたのではなく、亡くなった夫に恥じない生き方をしようと決意し、起業にチャレンジ。そして、今、夫の最後のラブレターを胸に、家事代行業として、いつもイキイキと働いている。

⑥ アレルギーの子供を持つ母親へ (同じものが食べられる幸せを)

(食品販売業)

長男がアレルギーであったことがきっかけ。当時はアレルギー対応食品も少ないうえ、市販の商品でアレルギーのもととなる食品を回避することが大変であった。卵を使用していないマヨネーズがあると聞きつけては、遠くまで電車やバスを乗り継いで買いに行くという生活。負担ではあったが、そうした材料を使って、自分の子供に他の子供と同じ物を食べさせられたという、その喜びが支えとなっていた。

こうした生活を続けているうちに、「同じアレルギーの子供を持つ母親の負担を軽減させたい」、「他の子供と同じものを食べさせられる喜びを味わって欲しい」などの気持ちが湧き上がり、起業を決意。その後、アレルギー食品販売会社を立ち上げ、同じ悩みを持つ母親の力になっている。

⑦ 新婚4ヶ月での夫の死 (誰でも働ける社会を目指して)

(リサイクル業)

新婚4ヶ月、夫が交通事故で亡くなり、いきなり母子家庭に。悲しんでばかりはいられないと、働き口を探すが、なかなか決まらない。母子家庭の前に立ちはだかる大きな壁。途方に暮れる日々。こうした苦労の末、障害者の就労支援の業務に携わることに。

その仕事の中で、障害者が1ヶ月働いて得られる賃金が平均1万5千円程度ということを知り、自分との境遇とも重なり、「何とかこの大きな壁を打破したい」との熱い気持ちが芽生える。

障害者や母子家庭でも、誰もが安心して働ける社会を実現したい。そういう思いから起業を決意。そして今、母子家庭、障害者、高齢者を中心に雇用し、就職支援も行っている。

⑧ 夫の看護を通して見えたもの (患者目線での起業)

(ネットショップ(お見舞い品等))

夫が急性白血病で倒れ、その看護を通して病院で感じ、経験したこと。それは正に、患者目線での視点が欠けているということ。例えば、介護製品は若者から老人まですべて同一のデザイン。心の持ちようが大事な患者にとって、それらを身につけることで自分らしさを失うことは決して良いことではないと感じたことが起業のきっかけ。

病気になっても自分らしく生きていけることをお手伝いするサービスや商品を提供したいと思い、医療サービスと患者側の意識のギャップを書き出し、入院や闘病生活が快適に楽しく送れるような商品等を取り揃えた専門店をインターネットで展開。そして今、夫の回復を支えながら、患者目線でのサービスを提供し続けている。

3-3. 起業のきっかけ(女性起業家編②) ～私を起業に導いたもの～

⑨ 在日外国人の雇用確保に向けて (頑張っている外国人を応援したい)

(人材派遣業(介護))

前職において、日本人の仕事に対する労働意欲の低下が加速している印象がある一方で、在日の外国人は、仕事に就ける職業の幅が狭く、自分の適正を活かせる仕事場がないという現実を知る。元々、ホームステイを受け入れるような家庭で育ったこともあり、日頃から在日外国人と気軽に接し、いろいろ話を聞いているうちに、彼女らの性格が介護に向いていると確信。日本で頑張っている外国人を応援したい。その気持ちから、外国人に特化した人材派遣業を立ち上げ。最初は、難色を示していた介護施設側を粘り強く説得し、実績を積み重ね、今や多くの在日外国人を介護の現場に送り込んでいる。

⑩ 金属加工業への挑戦 (女性が働きつなぎやすい職場を目指して)

(金属加工業)

「社会に貢献したい」、その思いから青年海外協力隊に応募。二次選考まで進むが、途中体調を崩し、断念。途方に暮れていた時に友人から誘われた放電加工機メーカーでの経験が転機となる。加工部門に配属され、技術を磨いていたところ、一転、女性だけで独立の話が。知人等のアドバイスもあり、女性が退職せずに一生安心して働き続けられる会社をつくりたいという気持ちに変化。女性従業員だけの金属加工業ということで、テレビ、新聞等のマスコミに取り上げられる機会も多くなり、今、新たな「社会貢献」に向けて、着実に歩み始めている。

⑪ ワーキングマザーの総合支援 (働くお母さんに優しい社会を)

(人材派遣業(家事・保育))

民間企業に17年間勤務。出産後は、仕事と家事・子育ての両立に悩む日々。特に子供が病気のときに見てくれる施設が少ないことを強く感じていた。

そこで、働くお母さんを支援するための組織を立ち上げ、7年間で2万件の相談を受けたが、その内容のほとんどが、「子供が病気のときに預ける病児保育施設がない」というものであった。そのことを受け、「子供が急に発熱したときに、自宅に安心できるスタッフを派遣してくれるようなサービスがあれば、強い味方になるのでは」との考えから起業を決意。そして今、働くお母さんの支援を続けている。

⑫ 阪神大震災時の地域FMラジオの役割に感動 (地域密着のラジオ局を目指して)

(通信業(ラジオ))

「父、体育館で待ってる」、「配水車が市役所に来ています」、「〇〇が危険な状態となっています。近づかないでください」、阪神大震災の時に、地域FMラジオ局から流れた声。この声が、多くの人命救助に役に立ったという話を聞いて感動。

この話から、災害時の地域コミュニティーラジオの重要性を痛感し、地域の人々の役に立ちたいとの一心で起業。

最初はプロのアナウンサーを雇ってたが、いざ災害となった時に「地元の地名すら言えないのではないか」、との疑問から、自分がアナウンサーとなり、地元の言葉で語り始めた。

普段は、地域的话题を自由に話すラジオ局として、日々放送を行っている。

4. 起業できた理由を漢字一字で表すと ～自分たちはこれを持っていたから起業できた～

起業できた理由を漢字一字で表すと、「志」

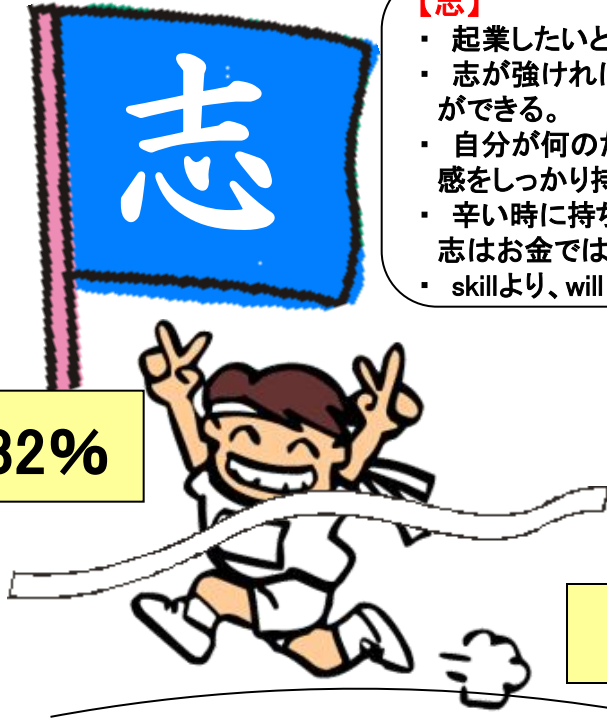
【志】

- ・ 起業したいと思う強い気持ち(志)が必要。
- ・ 志が強ければ、起業する勇気が湧き、決断ができる。
- ・ 自分が何のためにその事業をやるのか、使命感をしっかりと持つことが大事。
- ・ 辛い時に持ちこたえるためには、志が必要。志はお金では買えない。
- ・ skillより、will(意志・気持ち)。

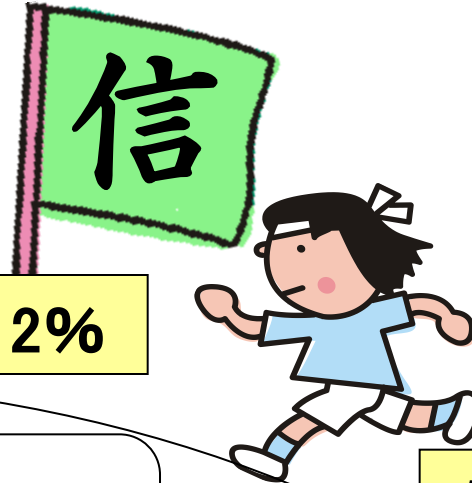
【人】

- ・ 私は人に助けられてここまでやってこれた。
- ・ 起業時のメンバーが揃っていなければ、起業は考えなかった。
- ・ 人とのつながり。地域の方、地主などいろいろな方に助けてもらった。

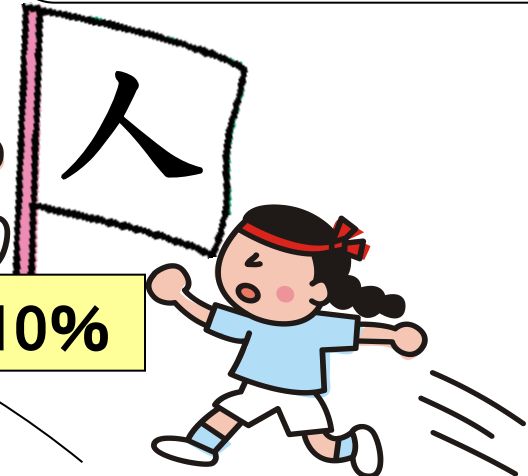
32%



12%



10%



【信】

- ・ 自分を信じること。起業したら、何が起きても自分で乗り越えるしかない。
- ・ 人との信頼関係、会った人を大事にすれば次の仕事につながる。
- ・ 家族との信頼、仲間との信頼。
- ・ 自分ならできるとずっと信じてきた。

5. 起業できた性格を動物で表すと(十二支の中から) ～自分たちはこういう性格だから起業できた～

自分の性格は「〇〇型性格」



<ウシ 型性格>

- ・ 粘り強く、諦めない。
- ・ 一歩、一歩着実に進んでいく。
- ・ コツコツと続けていく。



<イノシシ 型性格>

- ・ 目的・目標に向かって突進、一直線。
- ・ 後を見ない。過去を振り返らない。
- ・ 前向きな性格。



<ヘビ 型性格>

- ・ しつこい。執念深い。
- ・ 情熱と探究心。
- ・ 時々、立ち止まり、トグロを巻いてじっくり考える。



2
(20%)

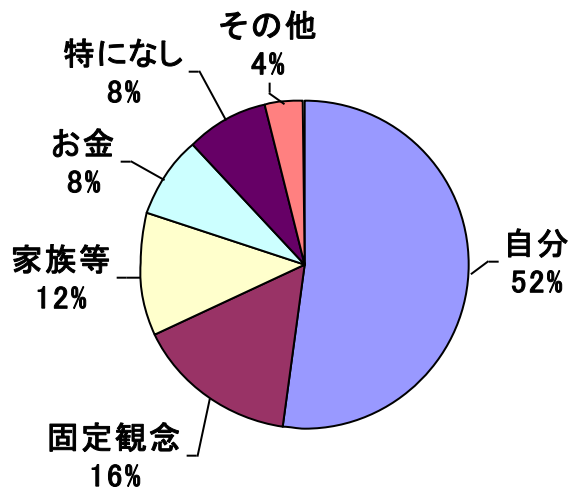
1
(22%)

3
(18%)



6. 起業を阻む最大の敵とは ～起業は自分との闘い～

起業を阻む最大の敵とは



固定観念

- ・ 法律や制度に加え、日本には古い慣習なども多い。
- ・ 業界内には、しがらみが多い。
- ・ 「女性だから」といった固定観念を打ち破ることが大変だった。
- ・ 何か新しいことをしようとする、慣習等が邪魔をする。



家族等

- ・ 家族の協力がなければ、起業はできない。
- ・ 家族のことを考えると、安定的な生活という視点で見えてしまう。



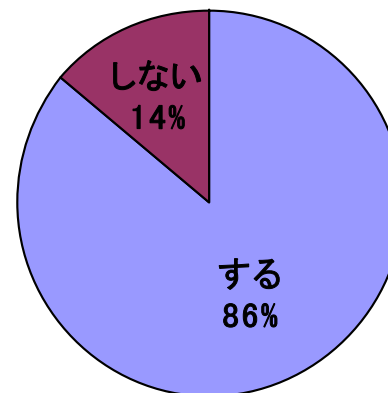
自分

- ・ 自分の中に潜む弱い心。強い「志」がどれだけ持続できるか。
- ・ 自分に厳しくないと、起業はできない。
- ・ 自分の中の守りの姿勢が最大の敵。
- ・ 自分自身が諦めないこと。諦めたらそこで終わる。
- ・ 険しい道のりは自分で乗り越えるしかない。
- ・ 最大の敵は、「病気」。健康であることがすべてである。



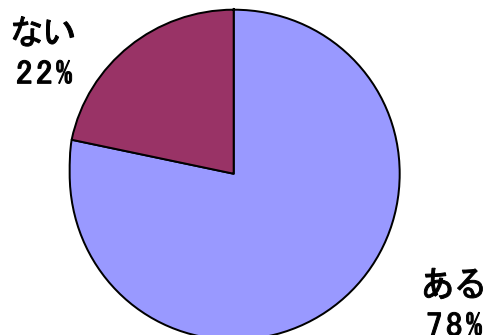
生まれ変わっても起業するか？

～それでも私たちは起業する！～



7. 起業後の反省点について ～起業前にやっておくべきこと！～

(1) 反省点の有無



(2) その内容

【反省点あり】

- ・ 起業してから、商工会議所の「創業塾」があることを知った。
- ・ 起業してから「創業塾」に参加した。そこで聞いたことが全て反省点である。
- ・ 起業前に深度ある市場調査を行い、販売計画を練るべきだった。
- ・ 起業する分野を極めるぐらいに勉強しておくこと。いくらやってもやり過ぎることはない。知ったつもりになっていた。
- ・ 起業するまで「助成金」という言葉すら聞いたことがなかった。創業支援の融資制度も含め、もっと勉強しておくべきだった。
- ・ 資金計画をしっかり立てておかなかったので、資本金がすぐに底をついた。

【反省点なし】

- ・ 起業前に「創業塾」に参加し、起業に必要なことを一通り学ぶことが出来た。
- ・ 「創業塾」は、単に人が集まるだけの異業種交流会とは異なり、起業という同じ「志」を持った人が集まるので、人脈を広げるためのきっかけとなった。

(3) 参考(創業支援の窓口)

大阪産業創造館	大阪市の外郭団体が運営しているが、大阪市以外の方も利用できる(要問合せ)。起業関係のセミナーや交流会を定期的で開催しており、事業計画の作成サポートや創業融資、創業準備のオフィスも提供している。起業に関する相談や起業後の経営相談は無料。
各商工会議所	各地の商工会議所では、創業支援を行っている。例えば、大阪商工会議所では、創業のための窓口相談、セミナー開催、创业者の交流会などを実施。また、起業前の方々にも短期間で起業に必要な知識やテクニックが学べる「ベンチャーキャンプ」を開催。その他、各種融資の相談にも対応。
日本政策金融公庫創業支援センター	全国15カ所(近畿圏は京都、神戸、大阪の3カ所)の創業支援センターでは、セミナーを開催したり創業相談に応じたりしている。東京、名古屋、大阪のビジネスサポートプラザでは夜間や土日の相談にも対応し、創業計画のブラッシュアップ等を行っている。全国152の支店には創業サポートデスクがあり、資金相談や創業相談などに応じている。创业者向けの無担保無保証の融資制度もある。

(注) 詳細については、上記各機関にお問い合わせください。

8-1. 起業家からのメッセージ① ～これから起業する方へ～

(1) 目的意識をしっかりと持て！

- ・ 自分は何をするのか。「軸」を定めて欲しい。確固たる「軸」と「志」を持って起業すれば、成功する。
(リサイクル業)
- ・ 「何をやりたいのか」を明確にし、それをやりきだけの意志の強さを持て。そして、どのように実現するか考えろ。
(水産品流通業)
- ・ 「自分のやりたいことは、世の中の役に立つのか」、突き詰めて考えて欲しい。「人に何かしてあげたい」という気持ちがなければ成功しない。「何かをしてもらいたい」では駄目だ。
(小売業(菓子))
- ・ 始めることに恐れる必要はない。何を始めるか真剣に悩み。「それが人の役に立つのか」、「どうしてあげたいのか」、これを決めれば、必ず伝わる。
(化粧品販売)
- ・ 大きな「志」を持って欲しい。大きな「志」を持っていないと「人」はついて来ない。
(介護関連事業)
- ・ 自分の起業しようとしている業種の顧客が何を求めているのかを真剣に考えて欲しい。
(食品製造販売)

(2) 人とのつながりを大切に！

- ・ 多くの人に支えられて起業ができた。人と人とのつながりを大切にしたい。
(レンタル業(事務機器))
- ・ 多種多様な業種の人との交流を持ち、人脈の構築に努めること。そういう人達と信頼関係を築くことができれば、困った時の助けになる。
(植物工場)
- ・ 常に謙虚な気持ちで人と接すること。謙虚な気持ちがあれば、どんなところでも相手にしてもらえる。
(製造業(精密部品))
- ・ 信頼のできるパートナーを見つけた方が良い。一人でやるのは、本当に大変である。パートナーがいれば、苦難も分かち合えるし、補完もできる。
(製造業(化学))

(3) 勇気を持って踏み出せ！

- ・ どの分野で勝負するのか。勝てるという自信があれば、勇気を持って一步を踏み出せ。
(製造業(衛生装置))
- ・ 一步目を踏み出す勇気を持て。そうすれば、二歩目を下ろす先がきっと見つかる。
(運送業)

8-2. 起業家からのメッセージ② ～これから起業する方へ～

(4) 諦めずに努力しろ！

- ・ 起業するためには、寝る間も惜しまずに努力する気概が必要。そして、成功するためには、諦めずに続けることが大事。しかし、時に立ち止まり、見定めて、軌道修正する勇気も必要である。
(印刷業)
- ・ 起業するまでもいろいろあると思うが、諦めないことだ。自ら決意して起業するのであれば、楽しんでやって欲しい。
(農業生産法人)

(5) 金儲け目的では続かない！

- ・ 「自分は何のために起業するのか」、「社会のどこをどう変えたいのか」、きっちりと自分の中に定義しておくことだ。お金儲けのために起業するのであれば続かない。
(貸農園)
- ・ 「儲けよう」という気持ちではなく、「人の役に立ちたい」という思いを持って、起業して欲しい。
(家事代行業)
- ・ 「売上げを100億にしたい」、「上場したい」とか思っているのは、長続きしない。一生掛けて成し遂げたいと想う夢を見つけることである。その夢が見つかるまでは、起業しない方が良い。
(人材派遣業)

(6) 覚悟を決めて起業せよ！

- ・ 安易な気持ちで起業すると、地獄に落ちる。決して、他人の金を当てにしてはならない。
(通信業(ラジオ))
- ・ 最初から黒字経営はない。石の上にも3年。どんなに悪くても3年続けることだ。
(金属加工業)
- ・ 覚悟を持って起業しないと痛い目を見る。起業を目指して相談に来る若者もいるが、その考えは甘い。やるからにはある程度の覚悟が必要である。
(経営コンサルタント業)

(7) 言い訳をするな！

- ・ 自分にとって、マイナスの情報も入ってくるが、それを言い訳にすることなく、地道にコツコツと正しいことをやって行けば、必ず成功する。
(介護関連事業)
- ・ 自分の責任で行動することが大切。失敗しても、人の責任にしてはいけない。
(ネット通販(生花))